

そらべつ議会だより



春の交通安全運動街頭指導の様子

■ 第1回定例会のあらまし	2
■ 予算審査特別委員会	4
■ 一般質問	15
■ 薫風	18

発行 / 壮瞥町議会

編集 / 議会広報特別委員会

(TEL 66-2121 · FAX 66-7001)

No. 65

■2017年5月■

定例会のあらまし

議案審議

合同事務センターを改修し 農業研修生用シェアハウスを整備！

平成29年第1回定例会は、3月9日から17日までの9日間の会期で開催されました。5名の議員が一般質問を行い、町政を質しました。平成29年一般会計予算のほか、議案24件、意見案1件を審議し、それぞれ可決しました。

第1回定例会

固定資産評価審査委員会委員の選任について

現委員である中山雄三氏を引き続き選任することに同意しました。

専決処分の承認（国民健康保険特別会計補正予算（第1号））

一般被保険者保険税還付金

53万6千円追加

質疑

社会保険加入被保険者が、国保資格喪失手続きを行わなかったことにより生じた過誤納の還付であるが、今後このようなことが生じないよう申請手続き等を検討する必要があります。

ないのか。また、広報等での情報提供も必要ではないか。

答弁

国民健康保険に関するお知らせ等を通して、加入喪失等の手続についても情報提供して住民周知を図っていききたい。

専決処分の承認（一般会計補正予算（第11号））

観光施設維持管理事業

（修繕料）

100万円追加

質疑

オロフレスキー場の圧雪車の故障原因はなにか。また、機械等の日ごとの点検状況は、

答弁

走行油圧モーターの破損により作動しなくなったもので、

原因について専門業者に調査を依頼したが判明しなかった。修繕後は順調に稼働している。機械等の点検については、現場で定期的な点検作業を行っているが、今後も作動前後の点検と、適切な使用管理についても指導していききたい。

壮瞥町の組織改編に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

企画調整課と税務財政課の財政部門を総務課に統合し、税務財政課の税務部門を会計課に統合するもの。

質疑

組織改編によって、財政面にとどのような効果が表れてくるのか。

また行政事務が広範囲になつていく中で組織が改編されるのか。

答弁

組織改編後すぐに財政面で効果が表れるものではないと思っているが、将来的には少人数でも機能する組織を目指して組織改編を行う。

今回は、課に参事を置き、横断的な対応で組織の中のマンパワーを弾力的に運用して業務対応していききたいと考えている。

質疑

事務合理化の進め方、また将来的な職員数はどの程度を目指しているのか。



スキーフェスティバル

平成29年 第1回



第1回定例会の様子

【答弁】

事務の外部委託や広域連携の中で合理化を進めることも必要と考えており、行政システムの関係や、連携のあり方について今後検討していきたい。

また、各団体の事務局等を担っている部分でも、事務局機能を団体にある程度持つてもらえば、当然役場の事務量としては減っていく。

現在の職員数は高校を含めて86名であるが、財政規模等を考慮した将来的な職員数は80名程度にすべきではないかと考えている。

【質疑】

町の将来性も含め、戦略的な職員数の合理化についての

考えは。

【答弁】

職員数の削減が前提ではなく、地域性や産業形態等、さまざまな観点からも検討しなければならぬ事項ではあるが、将来に向け職員数を抑制していく必要があるとの考えで検討を始めているものであり、必ずしも職員数の目標を定めていくというものではない。

西胆振消防組合の共同処理する事務の変更及び西胆振消防組合規約の変更について

【質疑】

広域で進めている新たな火葬場の設置と運営について協議はどこまで進んでいるのか。また、壮瞥町が加入した場合、現在の壮瞥町の火葬場をどのように運営していくのか。

【答弁】

平成29年6月1日に火葬場に関する一部事務組合が設置され、平成29年度中に設計、平成30年度から工事を始め、運用開始は平成32年10月を予定している。
現在壮瞥町の火葬場は年間

平均5〜6件の利用状況となっており、一部事務組合で新しい火葬場が設置された後は、将来的には廃止を検討したい。

平成28年度壮瞥町一般会計補正予算(第12号)について

1億1043万2千円追加

補正後の予算総額

43億4431万9千円

障害者自立支援給付等事業

980万円追加

【質疑】

扶助の内容や対象者は。

【答弁】

給付の内容は、介護給付・訓練等に係る給付と、障害児の施設利用に係る給付となっている。

利用人数は、平成28年度で、1200人程度(延べ利用回数)となっている。

農業研修生用シェアハウス整備事業

4400万円追加

【質疑】

施設の目的・収容人員・供用開始予定は。

【答弁】

目的は、農業に関わる研修や体験、また新規就農を目指す方が短期間滞在できる施設を整備し、当町の農業振興の一助になればというもの。町政懇談会や農業者との意見交換会、壮瞥町総合戦略策定会議の中で出ていた意見を反映して交付金の申請をした。現状施設の増築ではなく、全面的な改修をして6部屋を整備する予定である。

最終決定ではないが、できれば年明けぐらいから供用開始できればと考えている。

【質疑】

シェアハウスの使用料はどのぐらいを想定しているのか。また、入居要件は決まっているのか。

【答弁】

具体的な使用料や入居要件はまだ決めていない。農業者を含めた検討会を設置し、料金や入居対象を決めていきたいと考えている。

意見書の採択

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書を採択しました。

40億2,400万円 2億5,800万円増

予算審査特別委員会

新年度から役場機構改革実施

■平成29年度壮瞥町各会計予算状況

区分	29年度	28年度	増減
一般会計	4,024,000千円	3,766,000千円	258,000千円
国民健康保険特別会計	494,500千円	515,400千円	△20,900千円
後期高齢者医療特別会計	44,300千円	43,400千円	900千円
介護保険特別会計	345,500千円	326,600千円	18,900千円
簡易水道事業特別会計	183,400千円	138,000千円	45,400千円
集落排水事業特別会計	292,100千円	213,600千円	78,500千円
合計	5,383,800千円	5,003,000千円	380,800千円

第1回定例会で予算審査特別委員会に付託された「平成29年度壮瞥町各会計予算について」は、予算審査特別委員会において、3月15日から17日までの3日間審議を行い、可決すべきものと決定し、17日の本会議で可決しました。

平成29年度予算総額 53億8380万円を可決!!



壮瞥中学校卒業式での合唱

一般会計

歳出

総務費

総務管理費

嘱託職員賃金

354万4千円

質疑

29年度の役場全体における

嘱託職員と臨時職員の人数、賃金・社会保険料の全体額は、

答弁

全体で35名。賃金7620万4千円、社会保険料1259万3千円、合計8879万7千円となっている。

道職員派遣交流負担金

1000万円

質疑

道から派遣されている職員の職務内容と、町職員の能力向上策はどうか。

答弁

道派遣職員については水利権の整理と農業施設の維持補修部門を担当してもらっている。

機構改革の中で道職員が担当している職務を引き継いでいけるよう体制を整えていきたい。

質疑

今回機構改革が行われるが、行政改革と合わせ、将来を見据えた人事管理をどう考えているのか。

答弁

現状組織の年齢構成は過去の経緯もあってやや偏っており、すぐには改善できるものではないが、長期的視野で改善に取り組みたい。

職員数については、財政面から数を減らして嘱託職員等で賄う方法もあると思うが、災害時の対応等も考慮すると一定の職員数が必要であり、嘱託職員、臨時職員等の組み合わせを図りながら適正な規模を維持していきたい。

自動車購入費

132万3千円

質疑

昨年、備荒資金組合の車両譲渡事業を利用し町長車を購

一般会計予算総額は 前年比

町政懇談会は開催形式を考え実施



久保内中学校最後の卒業式

入したが、制度利用のメリツトと車両購入の支払総額は。

【答弁】

総額約530万円。メリツトとしては、5年分割で単年度支出の軽減につながっている。

【委託料】
ストレスチェック検査

12万円

【質疑】

職員の精神面のケアをどのようにとらえているのか。

【答弁】

ストレスチェックの結果表は個人に通知され、ストレス度を各自が把握することが制度の趣旨であるが、今後、できれば検査機関から年代、

職種による結果の傾向等の情報提供を受け、職員の精神面の適正管理に当たりたい。

【広報広聴業務】

161万円

【質疑】

28年度に町政懇談会が開かれなかった理由と、今後の開催予定は。

【答弁】

当初は行政側からテーマを出して議論をして頂くことを考えていたが、行政課題も多く、テーマを整理するまでに至らなかったこと、開催自治会、参加人数の減少もあり、開催形式を検討することに時間が必要だったため。

29年度においては、開催形式を一考した上で、行政改革等行政課題の説明、議論の場としても開催したい。

【質疑】

将来に向けた行政施策についての情報発信が足りないのでは。

【答弁】

高齢者福祉、子育て支援、公共施設の修繕等、町民の利用に直結する施策については、今後とも町民目線に立ち、進

めて行きたいと考えているが、情報発信の仕方についてはさらに工夫したい。

【コミュニティFM放送局事業負担金】

277万2千円

【質疑】

コミュニティFMのインターネット放送開始による85万2868円、久保内中継局の電源回路自動切替化工事35万5千円の内容は。

【答弁】

難聴解消のためインターネット配信をできるようにすること、停電時に発電機の接続を簡易化するためのもの。

【公共施設管理事業（指定管理者施設）】

2869万2千円

【質疑】

27年度に北の湖記念館の展示内容検討改善の委託業務が実施されたが、今年度改修費は予算計上されていない。今後どう進めるのか。

【答弁】

議会でも内容を提示したとおり大改修になるため、関係団体との協議や調整にも一定の

時間が必要と考えている。説明文の英語表示等できることから改修を進めていきたい。

【戸籍住民基本台帳費】

通知カード・個人番号カード関連事務負担金

29万9千円

【質疑】

マイナンバーカードの申請状況は。

【答弁】

現在、301件の申請で交付済みは292枚。

【企画費】

中間サーバープラットフォームホーム利用負担金

130万2千円

【質疑】

中間サーバープラットフォームの役割は。また今後も予算は計上されていくのか。

【答弁】

マイナンバー事業の個人情報漏えい防止のための中間サーバーであり、その運営費は全国の自治体で賄う。

マイナンバー制度の基幹システムであるため今後も予算計上されていくと考える。

4月から町直営に

障がい者の自立・就労を支援



認知症サポーター研修会の様子

民生費

社会福祉費

高齢者事業団運営費補助金
61万6千円

質疑

高齢者事業団が29年度をもって活動を終了すると聞いたが経緯は。

答弁

高齢者事業団の臨時総会で29年度末をもって活動を終了することを決議したと聞いている。事前に町には相談がなかったため、今年度は推移を見守りながら対応したい。

質疑

壮瞥町の仕事も多く担って

おり、会員も生活の糧として
いることから継続の希望もあ
ると聞いているが、今後の対
応が必要ではないか。

答弁

町発注の事業も多く、登録
会員の社会貢献と就労の場と
なっているとも認識しており
新たな団体の動きもあれば対
応したい。

社会福祉協議会補助金

1514万5千円

質疑

生活支援コーディネーター
の役割は。

答弁

また、地域包括支援センタ
ーが町直営になることの住民
へのメリットは。

質疑

介護事業者等による介護サ
ービス以外の地域の資源を活
用した様々な支援サービスの
コーディネートやネットワー
クの構築を行う役割を担う。
地域包括支援センターの業
務は、町直営化しても変わ
ることはないがサービスを受
ける方へ不便をかけないよう
に取り組みたい。

質疑

町の大小に捉われないサ

ビスが求められるが、小さい
町ならではの顔の見えるサ
ービスが求められるのではない
か。機構が変わることでの住
民サービスへのプラス効果は。

答弁

地域の実情に応じ、支援を
求める住民を見守る仕組みづ
くりが求められており、地域
ケア会議で集約し、支援の取
り組みが分散しないように検
討したい。

心身障害者福祉費

障害者自立支援給付等事業
1億5049万6千円

質疑

給付費が毎年増額している
が原因は。

また、障がい者計画と障が
い福祉計画の違いは。

答弁

障がい者の自立支援や就労
支援のための給付で、本町で
は事業所が1カ所から4カ所
になり利用者が増えたことに
より扶助費が増額している。

障がい者計画は今年度策定
しており、5カ年計画で障が
い者のための施策の基本計画
障がい福祉計画は次年度策
定し、3年間のサービスの必
要量等で目標値を定める取り

組み計画。

衛生費

保健衛生費

保健センター管理経費
498万1千円

質疑

保健センター改修での改善
点への対応は。

答弁

公共施設は住民が使いやすい
ことが大切なので、指摘の
あった部分については改善で
きるところから対応したい。

廃止鉱山鉱害防止

3億2834万6千円

質疑

昨年度より6500万円予
算増額した理由は。

答弁

施設改修が必要で、監視力
×ラの設置や攪拌装置の老朽
化の対応のための増額。

蟠溪温泉給湯施設維持
管理委託料
40万8千円

質疑

蟠溪温泉の給湯維持管理委

地域包括支援センター

東京での新規就農フェアに出展

託の状況は。

【答弁】

給湯施設の管理を個人から業者に変更することになり、ポンプの切り替えや点検作業を行うつもり。

【質疑】
ゆーあいの家泉源インバーター増設制御盤設置工事

410万円

【質疑】
工事の内容は。

【答弁】

インバーターを設置することにより、温泉くみ上げ量を調整してガスの発生を抑制するもの。

【質疑】
地熱資源開発調査事業

9807万6千円

【質疑】

黄溪地区地熱事業の見通しは。

【答弁】

28年度調査は終了したが、有望な結果にはならなかった。今後は電力会社と協議して結果が出るまで予算執行は留保したい。



そう混定期演奏会の様子

【質疑】
清掃費

塵芥処理管理・西いぶり広域連合負担金

5010万8千円

【質疑】

メルトラタワー改修の検討状況は。

【答弁】

現在、広域連合の構成市町の枠組みの拡大を協議・検討している段階であり、改築か延命改修かの最終結論はもう少しばらう時間がかかる見通し。

【質疑】
資源ごみ処理管理

1991万4千円

【質疑】

資源ごみ量は減少しているのか。

【答弁】

缶・ペットボトルはあまり変化がなく、家庭系・事業系生ごみは減少傾向にある。

【農 業 費】
農林水産業費

【農 業 費】
農業費

北海道農業委員会ネットワーク機構（北海道農業会議）負担金

9万6千円

【質疑】

農業委員会制度の改正により新たに「農地利用最適化推進委員」の設置があるが、壮警町の実態からすれば設置の必要性はないのではないか。

【答弁】

2月に農業委員の募集をしており、6月定例会に委員の任命について提案したい。なお、農地利用最適化推進委員の任命については、法令に基づき対応したい。

【質疑】
強い農業づくり事業補助金

437万4千円

【質疑】

補助金の内訳は。

【答弁】

J Aとつや湖が馬鈴薯貯蔵

庫を拡張する事業を補助するもので、総事業費は7億円。国の補助3億5千万円、J Aとつや湖と作付農業者がそれぞれ1億7500万円を負担する。

事業内容は、施設の選別レーンに増設するもので、壮警町の馬鈴薯作付農家は1戸で、作付面積で案分した2・5%の437万4千円が壮警町の負担金。

【質疑】
新規就農支援対策事業

155万1千円

【質疑】

新規就農フェア出展についての取り組みは。

【答弁】

札幌と東京で開催される就農フェアに出展を考慮しており、2〜3名程度派遣してPRし就農につながるよう努めている。

出展に関しては農業者等で実行委員会を組織し、効果のある出展を目指したい。

【質疑】
堆肥センター運営事業

3699万1千円

【質疑】

堆肥センターの管理・運営

耐震改修補助

周遊バス今冬も運行

調査委託業務を29年度も継続する理由は、
次年度以降の機械機具の更新はあるのか。

答弁

業務委託により堆肥製造過程の改善が図られ、従前よりもよい堆肥の製造が可能になった。

今後は、この技術を職員が習得することが必要であり、さらに、販路の拡大のためにも29年度も継続して委託することとした。

また、29年度はタイヤシヨベル（900万円）を更新し、次年度以降に堆肥の袋詰め機械の更新が必要と考えている。

質疑

出来るだけ運営経費の削減に努めなければ、今後施設の存廃も議論されることになるのでは。

答弁

設置後の経年による機械・施設の老朽化があることも事実であるが、現にこの堆肥を活用して土づくりに取り組んでいる個人やグループもあり、その支援も重要施策であると考えている。

また、生ごみのたい肥化処理経費は、町全体のごみ処理

経費の削減に貢献している面もある。
行政施策についてただ継続するだけでなく、いずれかの時点で見直すことや止めることも必要だと思いが、より良い方向に改善する努力が一番重要であり、多方面から検討して適切な判断をしていきたい。



シードルお披露目会の様子

水産業費

内水面漁業支援事業

50万円

質疑

洞爺湖漁協の現状と事業内容は。

答弁

洞爺湖漁協の組織は現在洞爺湖・壮瞥・伊達市の23名の組合員で構成されており、ワ

カサギ・ヒメマスの孵化事業に取り組んでいる。
28年度から3カ年、洞爺湖・壮瞥両町が50万円を補助して、総額480万円の孵化事業を実施している。

商工費

道の駅テイクアウトコーナー検討事業補助金

200万円

質疑

道の駅テイクアウトコーナーの運営と内容は。

答弁

自主運営委員会を4名で組織し、グルメマルシェとして29年度は6月、11月の各1カ月間毎日開催した上で、運営継続について専門家を交えて検討したい。そのためにも新たな農産物の加工も含めて協議・検討し、先進事例視察などを行いたい。

国内誘致事業負担金冬期間の周遊バス運行負担金

30万円

質疑

冬季周遊バスの運行は効果があったとの評価であるが、29年度に予算計上されていないのか。

答弁

冬期間の2か月間観光客を対象に周遊バスを運行し、目標利用者4860人に対し5300人（2月末現在）で、115%の結果となった。
29年度予算では、国内誘致事業負担金40万円の中の30万円が冬季周遊バス事業の負担金となっている。

バス事業者として採算ベースに近いものと考えられるが、運転手の確保が課題となっている。

事業に対する補助金の内訳は壮瞥町（30万円）、洞爺湖町（50万円）、北海道観光振興機構（200万円）となっている。

土木費

土空管理費

2億5197万4千円

質疑

民間大規模建築物耐震改修事業補助金
町内大規模ホテルに対する同補助金の算出内容は。

答弁

既存の施設の面積に国が示す補助限度額の5万300円

大規模ホテルに

中島1号線道路改良実施

を掛けた額が補助対象経費となり、この対象額の23%を補助額として算出している。

質疑

補助要綱はいつ定められるのか。

また、要綱の中で限度額は定められるのか。

答弁

国の要綱に基づき、先進的に行っている自治体を参考にしながら、できるだけ早く策定に向けて手続きを進めたい。

❖道路橋梁費

町道改修工事

800万円

町道側溝等改修工事

260万円

質疑

今後、町道の改修工事をしなければならぬ箇所はどのくらいあるのか。

答弁

今年度の町道改修工事は、パンケ川右岸線（弁景共同墓地へ行く道）の通行止め解消の工事を予定している。

ほかにも改修したい所があるが、優先順位を決めながら少しずつ改修していく。

町道側溝等改修工事は、星野1号線の側溝傾き修繕で、毎年少しづつ行っており、来年度も行う予定である。

除雪経費

3000万円

質疑

通学路の歩道の除雪が遅いように思われる。児童生徒の通学時に間に合うように出来ないのか。

答弁

町道については車道の除雪を優先しており、その後歩道の除雪を行っている。

国道・道道については、通学路となる歩道の除雪が登校時に間に合わないことがあることは承知しており、道路管理者の国や道に対し、早い時間での除雪を継続して要請していく。

町道道路改良舗装工事

1億1020万円

質疑

中島1号線の改修工事が予定されており、国の交付金額の範囲内で工事を進めたいとのことだが、住民には説明しているのか。

また、工事を区切りながら

するよりも一括で進める方が効率よく、安価に出来るのではないか。

答弁

今回の予算計上は1200mで、土地購入費や補償費も含めての額である。

昨年度は別の工事ではあるが当初要望額の46%しか交付されなかった。今年度も満額は厳しいのではないかと思われる。

全線まとめて工事をした方が総額では安くはなると思うが、財源を考えると難しいのが現状である。

住民に対して全体の工事の説明は既に行っているが、細部については具体的に事業を進めていく中で説明したいと考えている。

❖都庁計画費

ジオサイト管理委託料

62万7千円

質疑

管理箇所と、その委託内容は。

答弁

火山遺構公園の旧三恵病院跡、胆振線鉄橋跡、新山沼展望公園の草刈の委託料を計上している。

また1977火山公園については公園巡視等の委託料も計上している。

質疑

新山沼展望公園では地層を自然の状態で見せ、わかりやすく表示プレートを付けているが、それが雨風でズレ落ちているのを毎年直している。この見せ方や整備方法についての意見交換の場はあるのか。

答弁

地層の見せ方については、発見当初いろいろと検討した結果、自然のままの形で見てもらった方がいいとの結論で今の形になった。

風化対策については今後協議検討していきたい。



ジオサイト整備事業の様子

1億9000万円繰り入れ

要保護・準要保護児童に支援

教育費

教育総務費

嘱託・臨時職員賃金

940万5千円

質疑

嘱託職員は特別支援員1名と久保内小学校事務職員1名分。臨時職員は特別支援員4名分とのことだが、特別支援員の嘱託職員と臨時職員の業務内容の違いは。

また特別支援教育を受ける児童数の動向は。

答弁

嘱託・臨時とも業務内容は一緒だが、勤務可能時間が異なっており、長い時間勤務して頂ける方を嘱託職員としている。

特別支援教育を受ける児童数は、壮警小学校で3名、久保内小学校で1名、今後新学期で新たに入ってくる生徒数は壮警小学校で3名である。

小学校費

小学校運営事業

2001万6千円

質疑

コミュニティスクールの活動はどのようにして行われているのか。

また、どのように地域の特色を活かして進めようとしているのか。

答弁

27年度にコミュニティスクールとして4校を指定し、これまで学校評価を主体として各学校運営協議会を行っている。

今後は、町全体として学校を活かして、地域も含めた中で協力し合いながら学校運営、町民の生きがいを作っていくような方向にしていきたいと考えている。

要保護・準要保護児童援助費

253万6千円

質疑

扶助費の給付内容と動向は。

答弁

生活保護を受けている要保護者やそれに準じるような所得の方々を中心として給付している。

内容的には、学用品、体育実技用具、修学旅行経費、新入学準備経費、給食費等を支援している。

現状として、人数が少しずつ増加傾向にあるが、引き続き動向を見据えた上で支援し

ていきたい。



壮警高校入学式

高等学校費

3760万5千円

質疑

去年の時点では、高校の移転について28年度中に判断するとの考えを示していたが、しばらくの間移転しないと決めた理由は。

答弁

昨今の少子化の状況を踏まえて、しばらくの間、入学者の動向を見据えながら、当面は移転をしないという判断をしたということである。

質疑

高校の存続を前提とした上

で、教育環境改善を図りたいが財政的なことがあるので、現校舎を改修して当面臨んでいくという説明の方が理解しやすかったと思うが。

答弁

将来の高校運営については各方面からも意見を頂いた上で検討し、方向性を見出したと考えている。

移転はしたがすぐに生徒数が極端に減って高校をどうするかという議論にならないように、推移をみて判断したいと考えている。

社会教育費

図書フェスティバル

40万円

質疑

図書フェスティバル10周年記念事業の内容は。

答弁

人形劇や、木のプールを設置して交流を深められるような内容にしたい。



財政調整基金から

個人消費伸びず今後も厳しい見通し

国際交流費

英語指導助手招へい事業

454万6千円

質疑

英語指導助手の実態は。

答弁

現在の英語指導助手は8年目になり、子供たちとの関わりや、評判もよく、このまま継続していく考えである。

給与費

住居手当

729万円

質疑

住宅手当は持ち家には発生しないという給与規定のもとで支給しているとは思いますが、移住定住の観点からも、壮瞥町に住んで、町内に住宅を建てた場合には住宅手当に変わる何かの支援があってもいいのではないか。

答弁

あくまでも公営住宅や民間のアパートに住んでいる職員に支給する手当である。他の町で、持ち家制度があるところも聞いているが、当町では実施していない。支援という意味では、町が実施している持ち家支援制度

や共済でも有利な借り入れ等の活用がある。



壮瞥小学校入学式

歳入

入湯税

4598万5千円

質疑

インバウンド客の伸びは堅調のように思うが、前年度より減額を見込んだ理由は。

答弁

27年度と28年度実績により、前年比135万3千円の減収を見込んだ。

地方消費税交付金

5400万円

質疑

最近の経済見通しでは消費が上向き傾向にもあると言われているが、今後の見通しは。

答弁

28年度の予算化時点では、27年度実績が伸びていたこともあり、増収を見込んだが、実績では減収が見込まれるため、29年度では2100万円の減収を見込んだもの。報道では景気は上向き傾向にあると言われているが、実態は個人消費が伸びておらず百貨店、スーパーの売り上げも減少が続いており、29年度も厳しい状況が続く見込み。

堆肥売払収入

969万円

質疑

29年度の堆肥販売計画の内容は。

答弁

28年度実績ではバラ堆肥の販売量が1500m³、袋堆肥で8000袋の販売見込みとなっており、29年度においては町内分でバラ堆肥1500m³、町外分で100m³、袋堆

肥は町内分で1万袋の販売を予定しており、その売払収入を見込んだもの。

財政調整基金繰入金

1億9000万円

質疑

基金繰入金が28年度予算に比べて増額となっており、更に厳しい状況となっているが、予算編成上の現状と課題、今後の見通しは。

答弁

普通交付税の減額を見込んだ要因は特別加算分が大きく減ってくることで、公債費の交付税措置分の減額がある。さらに国の予算も2・2%減少するということも勘案したことで、29年度の事業支出分でも一般財源の持ち出し増や歳入面でも臨時財源対策債の減額がある等、収支不均衡があり、これらを勘案して予算化した。

今後の見通しは交付税次第ということもあるが、人口減少等のこともあり、税収や交付税が伸びることは考えづらく、歳入に見合った歳出の予算を組まなければ、今後、基金が減ることになるので、バランスを考えながら予算編成に取り組んでいく。

集落排水施設機能強化実施

水道メーター器取替

特別会計

介護保険特別会計

包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費

577万4千円

質疑

本事業は29年度から町直営で実施されるが、事務処理体制は。

答弁

地域包括支援センターの運営に係る経費であり、職員配置では専門職として保健師1名、嘱託で社会福祉士1名、臨時職員の介護支援専門員1名の3名体制で対応する。

保健センターの運営管理に当たっては、住民福祉課も関わりながら、包括支援センターが円滑に運営できるように進めていきたい。

質疑

水道メーター器取替工事

407万2千円

工事の内容と検針機器等の数量及び今後の整備予定数量は。



工事発注状況

平成28年12月から
平成29年2月までの発注分

() 内は予定価格

- 道の駅そうべつ情報館iリニューアル工事
10,000,800円(10,292,400円)
(株)中山工務店
- 仲洞爺地区集落排水処理施設機器修繕工事
5,724,000円(6,339,600円)
水ing(株) 北海道支店
- 久保内地区農業集落排水処理施設機械設備工事
7,992,000円(8,413,200円)
(株)栗林商会
- 町道菅原線道路改良舗装その2工事
20,196,000円(20,736,000円)
壮建興業(株)
- 星野单身者住宅物置改修工事
1,242,000円(1,285,200円)
壮建興業(株)
- 壮管中学校理科室内部修繕工
2,160,000円(2,235,600円)
(株)中山工務店
- 町道星野1号線側溝改修工事
2,840,400円(2,905,200円)
壮建興業(株)
- 建部改良住宅側溝改修工事
1,263,600円(1,285,200円)
壮建興業(株)

水道メーター器取替は29年度で247台予定しており、計量法に基づき8年以内で更

答弁



寄贈された愛の鈴

答弁

滝之町処理施設では回分槽

工事の内容は。

質疑

壮管地区農業集落排水処理施設機能強化対策工事

5600万円

集落排水事業特別会計

新するもの。町内全体には約1300台あり、残り分は順次更新していく予定。
備品購入費でハンディ型の検針器の購入を予定しており、これは20年に購入し、24年度に販売中止となり、30年中には修理サービスも終了するというところで、7台購入する。



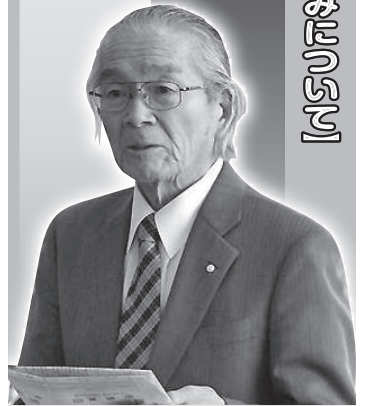
関連設備や内部ポンプ等の機械設備の改修、久保内処理施設は破砕機や流量調整ポンプ等の改修、中継ポンプは本体と制御盤等の機械設備の改修を行うもの。

いっぱん 質問 Q & A

【第4次壮警町まちづくり総合計画の取り組みについて】

Q 29年度の重点的に取り組む内容は。

A 健全財政に向けて取り組む。



佐藤 恣

ごせるよう今後も取り組む。

議員 安心して豊かさを感じる、まちづくりの最終目標は。

企画調整課長

町民のみなさんが「安心して暮らせるまちづくり」はこの総合計画の最高の目標である。

「壮警の町に住んで良かったと感じていただく」「まちづくりを目指すことが最終目標でその実現に努力したい。」

議員

29年度はどこを重点的に取り組む考えか。

町長

壮警町を取り巻く社会経済情勢の変化を適切にとらえ、限られた財源の中で取り組まなければならないが、29年度は、さまざまな施策に大きな影響を及ぼしている人口減少や健全財政運営に向けた取り組みの強化が特に重要と認識し諸施策を推進する。

議員

左のように新聞等に壮警町の広告が掲載されることがあるが、書かれているキャッチフレーズの持つ意味合いは。

「自然・ひと・まち」が響き輝くそうべつ
～火山のもたらした、めぐみの郷～



壮 警 町

企画調整課長

壮警町の様々な資源・自然景観は火山に依存しているものが多く観光・農業をはじめ産業や日常生活に関わっている。

このようなことから「環境・景観・温泉・農作物など、様々な資源が火山の恩恵であること」を再認識「火山のもとで地域が一つにまとまり、観光振興・農業振興を中心に豊かで持続可能な地域を形成していく」というビジョンから町の「将来像」として掲げている。

議員

第4次壮警町まちづくり総合計画も8年目を迎え、計画の中に掲げている数値目標の現状は。

町長

総合計画は平成22年度から31年度までの10か年計画で10年後の達成目標（数値目標）を設定、人口目標は3000人に対し27年の国勢調査で2922人、観光客の入込数目標200万人に対し238万人、健康目標としての特定健診受診率65%に対し49.9%で、目標を達成したものの、また未達成のものもある。

議員

総合計画を推進しての評価は。

町長

毎年度当該事業の集約、進行政管理を行っており、27年度は行政評価委員会で事業評価を実施し

議員

だが、現在は地方創生交付金対象事業に絞り、現段階での総合的な評価数値はまとめていない。総合計画は各分野の政策が広範に盛り込まれ、取り組んだ課題も多岐にわたり、最終的な評価・分析は次期計画策定作業の中で行いたい。

人口・観光の数値目標は外的要因があり町だけでは解決が難しいが、健康目標の向上は行政の働きかけ、さらに町民の意識改革が必要では。

住民福祉課長

対象者に対する受診勧誘や文書による呼びかけ、健康づくり講演会等の開催。

健康づくりについての意識向上には啓発活動が必要と認識しており、各種健康づくり事業等への参加による健康で生涯を過

質問

Q & A

【有害鳥獣被害対策の取り組みについて】

Q 電気柵の導入状況は。

A 総延長49・8 km。被害減少に効果があった。



高井 一英

【経済環境課長】

電気柵の助成事業は農業者からも効果が高いと言われている。今後の財政的な面での心配はあるが、平成29年度も予算計上はしている。

うちは継続されるのか。

議員 有害鳥獣対策で平成24年度より実施されている電気柵の効果は。

町長 平成24年度のエゾシカによる被害状況は48・3 ha、被害額1072万2千円。これに対し、平成27年度の目標を24 ha、被害

額530万円と定めた。平成27年度の実績は、35・7 ha、被害額415万1千円で平成24年度と比較すると面積で12・6 ha、被害額で657万1千円減少しており、計画以上の効果があった。電気柵の設置実績は表1のとおり。

表1

年度	件数	総延長(km)	補助額(千円)
24年度	21	25.9	2,896
25年度	4	4	592
26年度	8	9.5	1,135
27年度	7	6	1,069
28年度	4	4.4	588
合計	44	49.8	6,280

表2

年度	鹿(頭)	アライグマ(匹)	カラス(羽)
27年度	193	86	20
28年度 (1月末現在)	155	68	5

議員

有害鳥獣駆除の状況は。

町長

駆除の状況については表2のとおり。

議員

電気柵設置の助成は希望者がいる

議員

エゾシカの捕獲施設(囲いなど)での捕獲状況は。

町長

エゾシカの捕獲施設は、平成26年度に東湖畔に、平成27年度に南久保内にそれぞれ設置しており、捕獲実績は、平成26年度に東湖畔で3頭捕獲されたが、それ以外は実績がない状況である。

議員

捕獲施設での捕獲改善の取り組みは。

【経済環境課長】

管理している猟友会からも施設を有効活用したいと言われている。



壮瞥町女性の集いの様子

いるため、もう少し様子を見たい。

議員

胆振振興局の管内でも鹿肉料理を提供している店がある。近隣市町と協力して肉処理施設を含めた鹿肉の消費に向けた取り組みは。

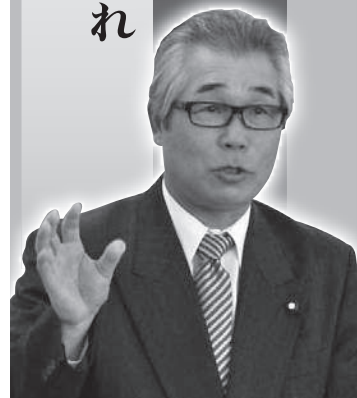
【経済環境課長】

壮瞥町に一番近い肉処理施設は登別にある。距離はあるが、食肉に活用する方向性を見いだせばと思うている。可能であれば近隣市町と今後相談していきたい。

【農業の担い手対策】(Q&A)

Q 具体的な対応策は。

A 関係者と協議し、受け入れ体制の充実を図る。



長内 伸一

議員

担い手減少の大きな原因は、後継者に他産業並の所得を確保できないことが大きいと思う。担い手問題は農業者自らの課題でもあり行政とともに多様な担い手に対応した具体的な対策が必要。

新規就農の多くが施設園芸に取り組む傾向があり、土地利用型農業の担い手が不足し遊休農地増加の恐れがある。

経済環境課長

高齢化することにより農地維持が難しくなる。土地利用型農業の担い手として新規就農の第三者継承の可能性も研究したい。

町長

新規就農者には安定的な経営をしてもらわなければならない。第三者継承は少ない負担で経営をしてもらえる可能性があり、土地所有農業者の理解があれば検討したい。

議員

現在当町の農業法人等を中心として通年正規雇用の取り組みが行われ、12名程が農業の現場で活躍しており雇用型の担い手

として期待し、しいては定住対策にも期待できるのではないかと。国の事業で「農の雇用事業」を生かしている農業者もあるが、手続きが煩雑であり町の事務的サポートがあると雇用に取り組み農業者がふえる可能性があるのではないかと。

副町長

申請は煩雑と理解しているが、行政の応援できる部分はどこまでか見極めて検討したい。

議員

消極的な答弁と感じるが、窓口は農業会議で町農業委員会の上部組織であり連携を取ってほしい。あくまで申請は農業者なのでサポートとしての範囲で取り組むべきだ。

また、女性農業担い手への支援の可能性も含め幅広く当町にあった担い手支援のあり方を農業者や関係機関と担い手プロジェクトチームを編成し検討すべきではないか。

町長

女性農業者の活躍の可能性は今後高まってくる。

農業施策のプロジェクトチームをつくって将来へ向けての議論をしていきたい。

議員
農業の担い手の減少は極めて深刻な状況にあると言える。高齢化によるリタイアなど減少を補うことができない。
当町も新規就農はもとより就農後継者や雇用による就農支援など町独自の支援も行っており、一定の成果は出ているが、定住対策も含めた総合的な担い手対策が必要だと思う。現状認識と具体的な対応策は。

町長

2015年農業センサスの結果、2000年調査と比較して農家数137件で48件減少、農業就業人口は50歳以下が減少し、70歳以上が増加傾向であることから農業就業人口が減少し農業が衰退しかねない状況になっている。

首都圏や札幌圏で開催される新規就農フェア等に参加し、壮



女性学級（健康）の様子

警町のPRを行いながら就農に意欲を持った将来を見込める若者を引き込みたい。
農業研修生のシェアハウス整備を計画しており、就農を希望する方々が安心して生活や仕事に打ち込めることができるように農業者や農協、普及センターの協力を得ながら受け入れ体制の充実を図りたい。

質問

Q & A

「観光の振興策について」

Q 今後の観光の振興策は。

A 観光スポットの磨き上げを図りたい。



真鍋 盛男

を調査している。しかし過去にもこの地域の町並み再編の計画があったと思うが、実現に至っていない。次期の噴火災害も踏まえ昭和新山地区を再編していく考えは。

議員

現在洞爺湖、昭和新山に観光客が集中しており、当該地域に投資を集中しているように思うが、今後の観光の振興策をどのように進めていく考えか。

町長

近年、アジア地域からの観光

客が増大し全体数を押し上げている。その多くが、当該地域に集中しているが、道の駅にも来館者がふえており、昭和新山と湖畔エリア、道の駅と果樹園地帯の2カ所に観光客が集まっている。今後の観光振興策は、まずこの2カ所を道内他地域と比較しても見劣りしないスポットとして育てていくことが肝要であり、この拠点から他の地域への誘導を図っていききたい。

道の駅リニューアルによって、わかりやすく観光情報を提供し町内の温泉や各種観光施設にまわってもらえるよう工夫を凝らしている。限られた予算内で優先順位を精査しながら事業を執行していきたい。

議員

昨年度、昭和新山地域の現状

昭和新山国際雪合戦の決勝戦



町長

昨年昭和新山地区の自主的な声掛けにより昭和新山活性化協議会が立ち上げられ数回の検討・協議が行われた。しかし、土地や建物の複雑な利権関係により大胆な町並みの再編には至っていないのが現状である。今後協議会も継続していく中、協力してできるところから少しずつでも改善していきたい。

議員

今年度行った所管事務調査の中、情報館内のリニューアルと駐車場拡張の説明を受けた。しかし平成29年度予算には駐車場拡張の予算計上がないがどうか。

商工観光課長

道の駅は国の補助事業を使って建設していることから、大改

修は10年経過しなければできない。

道の駅テイクアウトコーナーの新設、駐車場の拡張は有利な財源を確保しつつ実行していきたい。

議員

世界的にも有名になりつつある雪合戦だが、大会近くには道路沿いにのぼり等設置しPRしているが、年間を通しこのようなPRをしようか。

商工観光課長

雪合戦に関しては、来年30周年記念大会を迎える。早めにポスター等を作製やホームページやSNS等を活用しPRをしていきたい。

議員

観光協会の事業で行っているひまわりの作付を全町域に広げようか。

商工観光課長

ひまわりに関しては観光協会としても限られた予算内で行っている。観光客にも人気があることから今後観光協会とも相談しながら検討していきたい。

【公共施設・公営住宅の有効活用計画について】

Q 今後の進め方と財源の確保は。

A 有利な財源確保に努め、計画的に事業を推進したい。



加藤 正志

議員 壮瞥町定住促進・公共施設有効活用計画が、平成25年～29年度まで示されているが、この4年間の現状と課題、見直しを含め30年度以降の第2期計画にどの様に反映させていくのか。

議員 壮瞥高等学校の老朽化や、中学校の統合後の学校のあり方、建設場所の設定など、どの様に考えているのか。

町長 老朽化が進む壮瞥高校については、胆振西学区の生徒数の動向なども踏まえ、移転等の議論は状況を見た上で改めて検討する。中学校についても財源や施工内容も検討を加えたうえで、平成29年度に一定の考えを示す予定である。

議員 今後の人口減少を見据えたうえで、利用の少ない施設や閉鎖されている施設も含め、将来的な公共施設の集約に関しての受け止め方は。

企画調整課長 人口減少や高齢化が進めば公

共施設の利用度が低下し、施設の老朽化による維持管理費が増加すると予測。経常経費を優先することで施設の劣化が一層進み、先送りすれば次世代の住民の負担となると考える。

公共施設全体の機能の複合化、適正配置を進め、総量の抑制が必要。一方で必要な施設は更新、大規模改修すべきで、重要なポイントは適切な見極めと認識している。

議員 公共施設を維持管理していけば、恒常的に収支バランスが取れなくなり、基金が急速に減少し、厳しい財政状況が続くと考えられるが。

企画調整課長 総量抑制以外にも計画的な予防保全や長寿命化、用途廃止時の転用、譲渡の検討、除却時の有利な財源などが必要。



災害時の炊き出し訓練

企画調整課長

現計画では、子育て応援住宅の建設や改善センター、保健センターの機能向上改修など、財政負担の平準化を図りながら進めてきた。大規模事業は、合意形成や財源確保に一定の時間を要するため、より前広な計画性が必要と考える。

建設課長

現時点では48戸を予定しているが、建て替え時の状況、将来的に必要な戸数、財政的なものや建設後の維持管理経費等も、改めて検討したい。

単身世帯も多く居住しており、単身向けの間取りも検討しながら、住民のニーズや、財政的なことも考慮し、適正な戸数や間取りを検討していきたい。

議員

公共施設整備・公営住宅建設の時期が重なり予定されているが、全体の財政計画を示す必要性があると思うが。

企画調整課長

大規模事業に伴う財政負担も加味したものを、次年度の行政改革の取り組みの中でまとめていく考えである。

薫風

昭和神山国際雪合戦

30周年記念大会に向けて

昭和神山雪合戦実行委員会

実行委員長 阿野 裕司



「雪合戦において我々は世界の中心にいる。」

私たち実行委員会の合言葉となっている。

雪合戦愛好家にとって

「昭和神山」といえば昭和

20年に生成された火山ではなく雪合戦の世界最高峰の戦いが繰り広げられる正に「聖地」のことを指す。

平成元年の第1回大会から30年の時を経て、さまざまな試行錯誤を繰り返しながら、国内で20力所以上の予選大会が開催されるようになり、また、北欧や北米等にも広がりをみせ、12カ国が加盟する国際雪合戦連盟も発足した。競技レベルも年々向上し、甲子園の優勝経験チームが参戦する事態にもなった。そんな事ごとの中心にいるというプライドを胸に想いを熱くたぎらせて私たちは日々活動している。実行委員長として初めて迎えた今年の29回大会は

緊張の連続で、これまでとは違う景色の中での大会であった。中国チームの初参戦、フィンランド、ノルウェーからの幹部来町。行政関係者、スポンサーへの対応など、大会前日の金曜日からはまさに分刻みのスケジュールで試合もほとんど満足に観戦できなかった。それでも大会を成功させるべく、スタッフ全員がそれぞれの立場で業務にまい進している姿は本当に身にしみた。

近年続く雪不足には今年も町建設協会の協力があった。大会が何事もなく無事に終了することをひたすら願う、閉会式を終えたときには疲労もピーク。なおらいの席もこれまでは一番最後まで残っていたのに今年が一番最初に退場。

そして来年はいよいよ記念すべき第30回大会。30年前、ここまでの規模になると想像した方はいなかったと思う。記念大会として海外からチームの参戦も例年になく多いものと予想され注目度も高まる。各種記念行事や記念ゲームなどもすでに着々と企画立案されている。

もう1年のこの時期。次大会に向けて実行委員会 はスタートを切っている。次々と出されるアイディアは想像するだに楽しい。

昭和神山国際雪合戦をここまで大きくしてくれた先人たちに感謝の意を表すとともに、今や町の宝ともいえるべきこの雪合戦の火を永遠に灯し続けていくためにも第30回大会は、大きな試金石ともなるだろう。



編集後記

例年に比べ雪が少なく春の息吹が進んでいます。

年度替わりの月を迎えさまざまな団体が総会が行われています。世界での大きな変化、それは日本でも、そして我が地域でも変化が起こっています。さまざまな価値観や地域ごとの地勢的な違いをどう受け止めそれぞれの活動にどう生かしていくか。団体や組織の目的や規模に違いがあると同時に会員数も当然違いがあります。時代の変化をどう受け止め、会員の要望に添えていくのか。

風土という言葉があります。その地に生まれ育った人が土の人であれば風の人は他の地域から来た人であり、新世代といわれる人であるかもしれせん。風の人と土の人が知恵を出し合い、時代の変化に対応した風土をつくることに総会シーズンを迎え期待したいと思います。

(S・O)

お詫びと訂正

平成29年2月1日発行、議会だよりNo64号10ページの氏名部分の漢字に誤りがありました。

【誤】土屋知美

【正】土屋知実

以上のように訂正し、お詫び申し上げます。

議会広報特別委員会